

東九州メディカルバレー構想を推進する 地(知)の拠点

大分・宮崎両県にわたる東九州地域は人工腎臓や血液回路、血管用カテーテルといった国内外で血液、血管分野をリードする医療機器メーカーの生産拠点が立地する。こうした環境を背景に、両県は2010年10月に産学官で推進する計画「東九州メディカルバレー構想」を策定した。同構想を起爆剤として地場企業の医療、福祉機器産業への参入熱が盛り上がり、アジアの医療産業拠点を狙った取り組みも始まった。産学官の連携も進む中、「学」の立場から構想をけん引する東九州の3大学の学長に話を聞いた。

大分大学



北野 正剛 学長

「大分大学の取り組みを教えて下さい。」
2011年度に大分県と川澄化学工業により、寄付講座「臨床工学講座」を医学部に設置し、血液、血管分野の医療機器を中心とした研究開発や医療技術人材の育成、地場企業の医療機器産業への参入支援に取り組んできた。このほか日本式透析システムを海外で普及させるべく、今後両県で検討しているアジア地域の医療技術者の育成を目指す。トレーニングセンターづくりなど、構想推進の体制構築に取り組みを進めている。医学部では本構想をミッションとして、再定義の重要な柱の一つとして位置づけている。東九州地域の活性化に向けて医療機器産業の拠点(さらにはアジア)に貢献する地域づくりに

「15年度から研究開発体制を強化します。」
15年度から研究開発体制を強化します。

「臨床工学講座を改組して、4月に医学部付臨床工学センターを新設する。リエンジニアリングラボを設置し、企業との共同研究体制を整える。また血液・血管分野に限らず、工学部で行う福祉機器開発にも注力する。金学研究推進

2015年度、臨床工学センター新設

「臨床工学講座を改組して、4月に医学部付臨床工学センターを新設する。リエンジニアリングラボを設置し、企業との共同研究体制を整える。また血液・血管分野に限らず、工学部で行う福祉機器開発にも注力する。金学研究推進

「海外展開について、うかがいます。」
タイなどのアジア地域に向けて日本式透析システムの研究開発・機器の普及を目指すと



医療機器開発に向け、大分大学医学部付附属病院を見学する地場企業関係者ら

「アジア地域のトレーニングができる拠点を設置。同時に両県で医療技術者の受け皿となるトレーニングセンターの設置を検討している。」
今後、両県で医療技術者の受け皿となるトレーニングセンターの設置を検討している。今後、両県で医療技術者の受け皿となるトレーニングセンターの設置を検討している。

「(知)の拠点としての役割をしっかりと果たしていきたい。」

「(知)の拠点としての役割をしっかりと果たしていきたい。」

宮崎大学



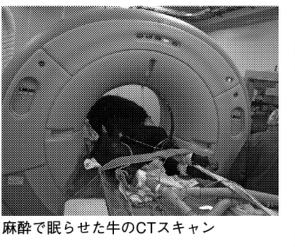
菅沼 龍夫 学長

「これまでの取り組みを、どのように感じてもらえますか。」
「大分・宮崎両県で構想が始まって以来、この構想が順調に、両県の産学官連携が良好な関係で取り組める場作りができてきていると実感している。今後は目に見えない成果を出すステップに入っていく。」
「学内の医工連携が活発

「構想推進のための12年にわたる取り組みが、重慶府がその意思伝達を可能にする装置「FARG」を地場企業と共同開発するなど、将来の高齢・介護社会を見据えた介護ロボットなどの研究開発やその実用化に向けた取り組みが期待されている。」
また医工連携を推進するには、両分野を橋渡しする研究者の存在が欠かせない。そのための人材育成も重要な。今後は本学内の教員同士の交流に留まらず、大分大学とも連携を強化し、新たなイノベーションの創出を目指したい。」
寄付講座での機器開発は、どうですか。

「動物の実証研究で機器開発後押し」
「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」



麻酔で眠らせた牛のCTスキャン

「構想推進のための12年にわたる取り組みが、重慶府がその意思伝達を可能にする装置「FARG」を地場企業と共同開発するなど、将来の高齢・介護社会を見据えた介護ロボットなどの研究開発やその実用化に向けた取り組みが期待されている。」
また医工連携を推進するには、両分野を橋渡しする研究者の存在が欠かせない。そのための人材育成も重要な。今後は本学内の教員同士の交流に留まらず、大分大学とも連携を強化し、新たなイノベーションの創出を目指したい。」
寄付講座での機器開発は、どうですか。

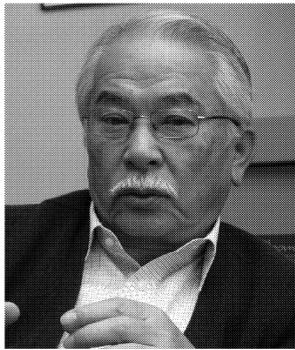
「動物の実証研究で機器開発後押し」
「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

九州保健福祉大学



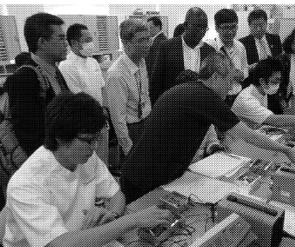
迫田 隅男 学長

「東九州メディカルバレー構想において、医療技術者の育成の要となっている。工学部を育成している。臨床工学技術者の育成は医学・工学両面の知識と技術力が欠かせない。そのため実習室には透析関連機器を整備。臨床現場を意識した実践重視の学生教育を行っている。この中で構想推進に主体的に関わっているのが、保健科学部臨床工学科。この学科では医師の指示のもと、医療機器の操作や保守点検などを行う臨床

「構想推進のための12年にわたる取り組みが、重慶府がその意思伝達を可能にする装置「FARG」を地場企業と共同開発するなど、将来の高齢・介護社会を見据えた介護ロボットなどの研究開発やその実用化に向けた取り組みが期待されている。」
また医工連携を推進するには、両分野を橋渡しする研究者の存在が欠かせない。そのための人材育成も重要な。今後は本学内の教員同士の交流に留まらず、大分大学とも連携を強化し、新たなイノベーションの創出を目指したい。」
寄付講座での機器開発は、どうですか。

「動物の実証研究で機器開発後押し」
「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」



2013年5月に国の機関と連携して、タイやベトナムなどから政府高官らを招聘。九州保健福祉大などを視察

「構想推進により、本学で取得できる人材を育成する。併せて学内に「がん細胞研究所」を設け、がん細胞の研究や再生医療に力をつけてほしい。地場企業の医療機器開発で、たんがんによる患者や医療従事者の負担軽減に向けて自動除去システムを開発。14年度に臨床応用を終えて、製品化を目指している。今後、本学の立場でも学内相互に刺激し合い、構想を推進していきたい。さらに新学部を含め、地域に根ざした大学を目指していきたい。」

「動物の実証研究で機器開発後押し」
「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

「動物の実証研究で機器開発後押し」

大分大学と企業との共同研究・共同開発事例

川澄化学工業(株)、旭化成メディカル(株)との共同開発

- エコーガイド下ブロック針、注射針の開発
- 新規ダイアライザーの開発

(株)デンケンとの共同研究

(株)キューメイ研究所との共同研究

■光治療、光と免疫能の共同研究

■凝固系検査試薬の研究開発

産学官交流会のお知らせ

○宇佐市産学交流会
日時：平成26年12月2日(火) 14:30~18:00
場所：宇佐市ホテルリバーサイド(宇佐市別府6)

○第6回大分大学技術交流会
日時：平成26年12月18日(木) 13:25~17:10
2つのテーマに分かれて開催
会場1 安全安心、持続可能な社会の創造とそれを支える先端研究
会場2 健康生活に貢献する医工連携技術と活躍する女性研究者

連絡先：大分大学産学官連携推進機構(若脇)097-554-7981

地(知)の融合で興す「新たに光る宮崎ブランド」を日本と世界へ

～異分野融合を軸とした「地の利、人の利」を活かす教育・研究・産学官連携～

ロコモティブシンドロームの予防

医学・工学を中心とした異分野融合

- ロコモ診断計測機器の開発
- レポート情報を用いたロコモ予防対策の探索
- ロコモ予防・改善に向けた滞在型ウェルネスプログラムの開発
- 宮崎の食材を活かしたロコモ食メニューの開発と食育など

産業動物の教育・研究拠点

産業動物教育研究センターを核とした医学・獣医学の融合

- 人、動物の双方を対象とした「新たな医療機器」の研究開発
- CTスキャンを活用した和牛の脂肪交雑研究
- 医療機器操作トレーニング等を通じた人材育成など

医療機器産業の拠点づくり

- 医療機器の現状や現場ニーズへの理解を深める「施設見学会・勉強会」の開催
- 医療現場の「あったらいいな」を形にする地場企業向け「ものづくり講演会」の開催など

生命医科学部 生命医科学科

2015年4月開設

細胞検査士 + 臨床検査技師

ダブルライセンス取得!

細胞検査士とは…
がんの早期発見に欠かせないスペシャリスト。

臨床検査技師とは…
病院などで人々の健康に貢献する専門家。

がん撲滅のスペシャリスト

卒業後の進路
臨床検査技師・細胞検査士は、医療関連の幅広い分野で活躍が期待されています。

九州保健福祉大学の「生命医科学部 生命医科学科」は、臨床検査技師国家試験資格はもちろんのこと、九州・沖縄の四年制大学としては初めて、細胞検査士認定試験受験資格も同時取得可能なカリキュラムを用意する予定です。

九州保健福祉大学の場合
大学4年間
臨床検査技師 細胞検査士
国家試験受験資格 認定試験受験資格

他の大学の場合
大学4年間
臨床検査技師 細胞検査士
国家試験受験資格 認定試験受験資格

ダブルライセンス取得!

九州保健福祉大学
〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町1714-1
TEL 0982-23-5555(代) FAX 0982-23-5540

国立大学法人 大分大学

企業からの相談窓口
産学官連携推進機構 産学官連携コーディネーター 産学官連携推進機構問合せ先
TEL/FAX 097-554-7969 TEL 097-554-7981
メールアドレス coordinator@oita-u.ac.jp

宮崎大学 / 産学・地域連携センター

「技術相談」「共同・受託研究」「自治体との連携事業」など、領域・業種の枠を超えた産学官連携を推進するため、コーディネーターを配置しております。

TEL/FAX: 0985-58-4017 / 0985-58-3899 E-mail: cr@of.miyazaki-u.ac.jp

学校法人 九州保健福祉大学

〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町1714-1
TEL 0982-23-5555(代) FAX 0982-23-5540

http://www.phoenix.ac.jp E-mail: kouhou@phoenix.ac.jp